

フェルトダンプ LAN 端子の効果(5)(HP 収載)

—fidata HFAS1-S10 —

1. 始めに

前報(4)に引き続き、フェルトダンプ LAN 端子の効果を検討します。

2. フェルトダンプ LAN 端子の試聴計画

前報(4)の Sonica DAC に引き続き、LAN ポートが 1 箇所しかないものの LAN ポートをフリーにし、LAN ポートを使用しない再生を行ってみました。

対象として fidata HFAS1-S10 を選び、fidata HFAS1-S10 から次のような再生を行いつつ、fidata HFAS1-S10 の LAN ポートの空きにフェルトダンプ LAN 端子を挿しこんでみます。LAN ポートは入力用と LAN DAC 等への出力用があり、前者はスイッチングハブと繋がっており、これを外すとアプリが認識しなくなりますので、後者の空きポートにフェルトダンプ LAN 端子を挿しこんでみます。

なお、fidata HFAS1-S10 の筐体は非常に強固なものであり、自作のインシュレーターをかましています。

fidata HFAS1-S10 の LAN ポートは STP 仕様です。

fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+

音源は fidata HFAS1-S10 収納のファイル音源です。

MQA-CD

ユニバーサルミュージック UCCG-40074

ドボルザーク 交響曲 8 番・9 番

ラファエル・クーベリック指揮ベルリンフィル

ユニバーサルミュージック UCCG-40074

ドボルザーク チェロ協奏曲 UCCG-40078

ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ (チェロ)

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィル

11.2MHz DSD

ステレオサウンド SSHRB-005

バッハ チェロ組曲

ヤノーシュ・シュタルケル (チェロ)

ステレオサウンド SSHRB-004

ロイヤルバレエ ガラコンサート

エルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団

ステレオサウンド SSHRB-006

ホルスト 惑星

ズビン・メータ指揮ロスアンゼルスフィル

3. フェルトダンプ LAN 端子の試聴結果

fidata HFAS1-S10 の LAN 空きポートにフェルトダンプ LAN 端子を抜き差ししなから上記音源を再生して聴いていきました。

ドボルザークの交響曲 8 番・9 番は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、音が緻密で滑らかになり、濁りが減少します。

ドボルザークのチェロ協奏曲は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、弦が滑らかになり、チェロの艶がでてきます。

バッハのチェロ組曲は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、若干チェロの音が滑らかになったかなという程度です。

ロイヤルバレエのガラコンサートは、フェルトダンプ LAN 端子ありで、音が緻密で滑らかになり、濁りが減少します。

ホルストの惑星は、フェルトダンプ LAN 端子ありで、音が緻密で滑らかになり、濁りが減少します。

なお、フェルトダンプ LAN 端子追加の変化の度合いはそれほど大きくなく、曲によって効果が分かりやすいものと分かりにくいものがあります。

4. まとめ

Sonica DAC の LAN ポートにフェルトダンプ LAN 端子を適用する効果を認めましたが、それほど顕著ではありません。

以上